

平成27年度第1回鹿児島市地域情報化推進委員会概要

- 1 開催日時  
平成27年10月21日（水） 11:10～12:00
- 2 開催場所  
鹿児島市役所東別館9階特別中会議室
- 3 出席者  
(1) 委員8人  
(2) 事務局5人（総務部長、情報システム課長、情報システム課3人）
- 4 会次第  
(1) 第三次鹿児島市地域情報化計画の進捗状況について  
(2) 鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）及び同人口ビジョン（案）について  
(3) その他
- 5 議事の概要

発 言 者	議 事 内 容
	(1) 第三次鹿児島市地域情報化計画の進捗状況について
事務局	事務局から資料の説明
委員	質疑応答 ● フェイスブック等の数が26年度は結構増えているが、確認したところ27年度は、その数字から特に増えていないようである。更新状況や研修はどうなのか。SNS等の活用促進を期待している。
事務局	● 26年度はフェイスブック等で4つのアカウントを増やして情報発信を強化した。また、庁内ではSNS等の活用を促進するために研修等を行っている状況である。
委員	● 今年度、新電車運行情報システムが導入されている。活用はするが、それを活かしているということがなかなか市民には見えてこないところがある。電車が後どのくらいで来るという表示があり、すごく便利なのだが、スマホでも見られるようにしていただければと思う。これはお願いなのだが、夜帰るときに電車がまだ運行しているかどうか電停に行かないとわからない。システム導入時には、そういうことも検討していただければと思う。
事務局	● 今回導入したシステムは、電停で表示している交通の情報を、従来は定型文しか情報が流せなかったものがより細かな情報が流せるようになったものである。スマホとの連動といった仕組みも利便性向上につながるということを関係部局に伝えていきたい。
委員	● 学校における情報教育の充実という項目がある。ソフトプラザに入っている企業と連携して学校に出向いて行って学校の情報教育の中で情報産業、IT産業のことをアピールするような、仕事の魅力などを伝えるような取り組みを行って欲しい。今ソフトプラザの方で就職生を対象としたセミナーをやっているがその時期では遅い。小学校、中学校の頃から情報産業の魅力であるとか、鹿児島でもそういうところで働けるといふ、そういう教育にも取り組んでいただきたい。IT業界の誘致も行っているのだからそれと併せて小中学生向けの教育にも取り組んでいただければと思う。計画の中では、設備を充実させるとかソフトを導入するということが書いていないので、情報業界の魅力なども伝えて欲

委員	<p>しい。地方創生の取組としても検討してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 先日県の教育委員会の方々と意見交換会をした時に、学校に入っているコンピューターのOSが8年間そのまま更新されずに使っているという話を聞いた。鹿児島市の場合どういう状況なのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● OSのバージョンにサポート終了があるので、それに対しセキュリティ的な観点で本市では教育委員会も含めて全庁的に更新などの対応をしている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュリティ上更新しないといけないものは、更新されているのだろう。学校のパソコンは、更新にコストがかかるとか色々あると思うが、古いものが古いまま使われているものがあるのではと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インターネットに接続されているものは、セキュリティ上更新していくが、インターネットと接続されおらず独自ネットワークで、システムが特殊なものでそのOSでないと動かないといった場合などは、OSを引き続き使うということはありえる。ある程度長く使うと故障などがあるので、随時更新するようにはしている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 先ほど市電の話もあったが、観光関連でいうと外から来た人間にとっては市バスがわかりにくくて使いづらいという声をよく聞く。ICTの活用に限らないのだが、バス停の整備や案内など利便性の向上に努めていただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係部署に伝えておく。</li> </ul>
	(2) 鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）及び同人口ビジョン（案）について
事務局	事務局から資料の説明
	質疑応答
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内では鹿児島市のように人口集積地ばかりでなくて、条件不利地域が多くあり、インフラとして携帯電話の電波や光回線が届かないところもある。鹿児島市も都市部と農村部が存在しているが、鹿児島市の農村部にもサービスが届いてほしいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フェイスブックやツイッターなどが周りでもよく使われている。子育てをしている主婦が復職しようとした時に働きにくいという声をよく聞くので、そういうSNSを利用して、子育て世代の母親が復職できる環境になっていけたらと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 復職や子育てといったことなどへの課題解決の一つの役割としてSNSの活用を検討していければと思う。関係部局へも伝える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンパクトシティ化の推進において、鹿児島市内のどのバス路線が活用されているのか見えていない。できるだけ中心部に人を集めて、そこでうまく生活してもらおうという時に、今後どういう風に取り組みをする、どこにバス路線を増やすという時にバスの乗降者数や利用率を参考にするのだろうが、自動的にカウントできるような仕組みができればと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地方創生として移住の促進ということも出てくるが、鹿児島市の魅力を伝える上でICTの活用が重要になってくる。フェイスブックも17アカウントから情報発信しているが、その魅力が集約されたページがあったほうがよい。一つ一つをたどっていくよりは、鹿児島ってこんなこともあるんだというのがある程度集約されていたほうがよい。鹿児島でもホームページの中で色々な部署によってページが分かれている。海外の人を呼び込むにしても移住を促進するにしても、観光地だけではなくて、まだ日のあたっていない鹿児島らしいものを紹介して、魅力を伝えていくような努力もお願いしたい。</li> </ul>

事務局	● 今回の地方創生の取組に移住の促進、観光の振興を挙げている。委員が言われた一箇所でわかりやすい内容、仕組みということと、まだ見えていない鹿児島 の魅力を今後引き出していけるような取り組みを庁内にも伝えながらやってい きたいと思う。
委員	● 先ほど説明のあった避難行動要支援者管理システムというような良いシステム はあるが、実際運用するときはどう使われるのかというのが気になる。総合戦 略（案）に取り組みがたくさん載っているが、一般の市民の方にはその情報が ほとんど届いていない状況だと思う。特に高齢の方からは、別の案件でパソコ ンのホームページを見るのが面倒だという声も聞いた。情報を発信する側と受 ける方のギャップというのは、まだかなりあるという気がしている。
委員	● このシステムについて、要支援者の情報を入力するのは誰になるのか。市民側 なのか市が把握して登録するのか。情報収集はどうしているのか。
事務局	● 入力するのは職員になる。情報は関係の方から入手して登録することになる。 既に要支援者の情報把握の取り組みは行っていて、それをより効率的に運用す るために新しいシステムを導入するものである。
	(3) その他
事務局	● かがしま I T フェスタについて説明。